

製品安全シンポジウム開催のお知らせ

～製品による事故防止に向けて（製品安全知識の構造化）～

平成 23 年 2 月
商務流通 G 製品安全課

1. 概要

経済産業省では、2月25日（金）に東京で「製品安全シンポジウム～製品による事故防止に向けて（製品安全知識の構造化）～」を開催いたします。

国民が日々の生活の中で用いる製品の安全を実質的に確保していくためには、事業者による安全な製品の製造・販売や事故に係る情報提供等の取組、行政による製品安全の確保のための取組、消費者による製品の合理的な選択や使用など、事業者・行政・消費者それぞれが適切にその役割を果たしていくことが不可欠となっております。

そのため、経済産業省では、本年度の委託事業の一環として、主に消費者の誤使用や異常使用による製品事故が後を絶たないことに注目し、特定の製品の危険源や使用環境の可視化や、誤使用等の原因究明に関する調査研究を実施しております。

本シンポジウムでは、上記の調査研究のこれまでの成果の発表を行うとともに、日常生活の中で使用している製品による事故防止に向けてそれぞれの立場がどのような役割を果たしていくことが必要かについて講演及びパネルディスカッションを実施いたします。

2. 次第

日 時：平成23年2月25日（金） 14：30～17：00

会 場：三井住友海上火災保険（株） 駿河台ビル会議室
（千代田区神田駿河台3-9）

募集人数：200名

参加費：無料

参加申込：下記ホームページからお申し込みください。

<http://www.irric.co.jp/21-110225>

3. プログラム（プログラム・出席者は変更する場合があります。）

（1）14:30～14:40 開会挨拶

（2）14:40～15:00 講演

「製品事故防止に向けて関係当事者に期待される役割」

株式会社インターリスク総研 コンサルティング 第一部 CSR・法務グループ 長

田村 直義

(3) 15:00~15:30 講演

「日立アプライアンスにおけるPSリスクアセスメントの推進」

日立アプライアンス株式会社 品質保証センタ 主管技師 伊藤 淳

(4) 15:30~16:00 講演

「消費者の製品使用プロセス解析について」

東京大学 工学系研究科 医学博士 特任教授 水流 聡子

休憩 (10分)

(5) 16:10~17:00 パネルディスカッション—製品による事故防止に向けて—

➤ コーディネーター

株式会社インターリスク総研 田村 直義

➤ パネリスト

日立アプライアンス株式会社 品質保証センタ 主管技師 伊藤 淳

主婦連合会 事務局次長 河村 真紀子

社団法人日本ガス石油機器工業会 安全対策委員長 恒川 勝己

東京大学 工学系研究科 医学博士 特任教授 水流 聡子

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター参事官 長田 敏

(問い合わせ先)

「製品安全シンポジウム」 事務局 (担当: 蛸子 (エビコ))

電話: 03-5296-8912 (平日 9:00~17:00)

(株式会社インターリスク総研 内)

会場案内図



【交通】

JR総武線 御茶ノ水駅（聖橋口から徒歩5分）

東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅（B3出口から徒歩2分）

有楽町線丸の内線 淡路町駅（B3出口から徒歩2分）

都営地下鉄新宿線 小川町駅（B3出口から徒歩2分）